

榛原総合病院 だより 7

2024
第 225 号

ありがとうございました



【第 1 回徳洲会カップ(医療従事者向けサーフィン大会)】

日本初の大型ウェーブプール「静波サーフスタジアム PerfectSwell®」

6月16日(日)第1回徳洲会カップ(医療従事者向けサーフィン大会)を開催しました。全国から医師や看護師、看護専門学生など約130人が出場し、経験別の5クラスに分かれて技術を競いました。初心者向けの体験会も行われました。この大会は、医療従事者と地域住民の交流を目的に、徳洲会グループと牧之原市が初めて開催したものです。会場では当院職員による医療講演会や健康相談会、市内の中高生による演奏やダンス、軽トラック市、キッチンカー、キッズコーナー、全国物産展などが行われました。多くの皆様にご来場いただき、大盛況のうちに終了することができましたこと、心からお礼申し上げます。また、ステージイベント会場では多くのボランティアの皆さんに盛り上げていただきました。ありがとうございました。



ドクターからのメッセージ 「夏風邪」について

小児科 宮城 佳史 (みやぎ よしふみ)



7月に入ると気温はだいぶ高くなり、暑い日々が続きます。暑くなってくると、『**発熱・のどの痛み**』を訴える子供達が多くみられます。夏風邪と言われるプール熱・ヘルパンギーナ・手足口病などが原因であることが多いです。**プール熱**は「咽頭結膜熱」とも言われ、アデノウイルスに感染することで発症します。感染力が非常に強く、高熱、のどの痛み、結膜炎の症状が多く、症状は4~5日ほど続くことが多いです。

ヘルパンギーナは主にエンテロウイルスやコクサッキーウイルスなどにより引き起こされる感染症で、高熱とのどの痛みで、口の中に水ぶくれのような発疹ができます。発疹の痛みから食事や水分がとれず脱水を起こすこともあります。

手足口病もヘルパンギーナと同じエンテロウイルスやコクサッキーウイルスが引き起こす感染症で、口の中や手のひら、足を中心に水ぶくれのような発疹が出ます。発疹はおしりにも出ることがあります。発疹は1週間ほどで消失します。のどの痛みから食事や水分がとれなくなることもあるので、脱水症状に注意が必要です。

夏風邪もほとんどの場合は安静にしていれば数日で治る病気です。ただし、注意が必要な点があります。ぐったりしている場合には、低血糖や脱水症が存在し、点滴が必要になることもあります。まれに重症化することもあるので、元気になるまではしっかり経過を観察することが大切です。また、多くの夏風邪は飛沫感染ですので、手洗い・うがいや消毒など、感染が広がらないように注意することも大切です。



<おねがい> 受診の際には、必ず『**おくすり手帳**』をご持参ください。

榛原総合病院の理念

❖ 生命を安心して預けられる病院

❖ 健康と生活を守る病院